

和歌山県有床診療所協議会会員事務局より会員の皆様へ

(2021.4.2)

文責：辻 興

いつも当協議会運営し際しご支援を賜り心より感謝申し上げます。

新年度を迎え、大阪を中心に和歌山県でも新型コロナウイルスの第4波の様相を呈する中、会員の皆様の地域医療へのご貢献本当に有難う御座います。

入院部門を含む感染対策に奔走される中、新型コロナワクチンの接種もこれから本格化し、皆様ご多忙な事と存じます。

当協議会と致しましては、昨年度に続き、新型コロナ禍において、今年度も当協議会活動は基本、集会での活動は自粛し、協議会ホームページを用いた書面開催で協議を行いたいと考えております。

総会を控え、今年度の事業計画（案）を作成致しましたので、御一読下さい。ご意見、ご希望等御座いましたら、4/10 締切にて会員事務局まで FAX：0739-22-0538 にてご連絡下さい。

また、今年6月（予定）の総会では、役員改選が実施されます。理事、及び監事の募集を行いますので、是非、皆様、御応募頂きます様、宜しくお願い致します。

令和3年度事業計画（案）

1. 未曾有のコロナ禍において有床診療所事業を存続させる為、会員相互の情報共有と協力、支援を行なう。
2. コロナ禍における様々な行政施策に対応する為、新たに設立した「事務部会」を活用し、会員事務部門相互の情報共有と協力、支援を行なう。
3. コロナ禍における地域での病床不足に対し、院内感染防止に努めながら、地域における後方ベッドとしての有床診療所病床有効活用を行なう。
4. 院内感染防止に努めながら、新型コロナウイルス感染症への診療・検査医療機関としての協力や、新型コロナワクチン接種体制確保への協力を行なう。
5. 県下有床診療所が担っている病床機能の周知と更なる有効活用に向けて、県民や行政に情報発信を行なう。
6. 全国有床診療所連絡協議会との連携のもと、次世代に継承・永続可能な経営環境実現に向け、担っている役割に相応しい入院基本料引上げを求める。
7. 協議会ホームページを活用し、各会員が地域で担っている役割を発信し、12月4日の「有床診療所の日」記念行事等を用いた広報活動を促進する。
8. 県下有床診療所の一致団結と情報共有、意見の集約と将来展望構築の為、更なる会員増強を目指す。